

発電用に供する木質バイオマスの証明された木材・木製品の取扱実績取りまとめ

(令和 6年 7月10日現在)

令和5年4月1日～令和 6年3月31日

令和 5年度	素材生産業者・原木市場・製材業者の方							チップ製造業者・製材業者でチップ販売の方									
	伐採量または入荷量(m ³)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	出荷量				原材料入荷量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	チップ出荷量				原材料在庫量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材
				発電用チップ加工向け(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	発電以外(m ³)				発電所向け(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	その他向け(トン)			
89社中86社分	314,285	133,759	110,688	41,014	25,427	12,233	66,534	201,089	97,809	91,642	282,159	164,805	98,384	55,134	17,699	12,404	4,316

コメント	<p>報告書の提出は86社で例年並みの報告率となりました。</p> <p>素材の入荷(伐採)量は昨年度と比較して、未利用材では200%と大きく増加したことと一般材においても119%と増加したことで、伐採量の合計では314千m³(対前年比135%)と大きく増加しました。</p> <p>また、発電用チップ加工向けの出荷量は41千トンで対前年140%と大きく増加しています。うち未利用材については25千トンで対前年度比93%とほぼ昨年並みですが、一般材が12千トンと約10千トン(対前年比59%)と大きく増加しました、また、発電以外では約12千トンの減少となりました。</p> <p>なお、県内には当会以外の団体に認定を受けた事業者(森林組合など)があり、その数字はここに反映されていません。</p> <p>また、この数字は入荷量、出荷量とも素材生産業者と市場や製材のダブル計上が多く存在します。</p>	<p>原材料入荷量は対前年度比89%と減少しています。</p> <p>ただし、原材料入荷量は当会の認定でない者(全子連や県森連のように他の認定団体の認定者)からの入荷もあり、入荷量の増減は明確ではありません。</p> <p>対前年度比では、原材料入荷量201千トン(対前年度比89%)と減少していますが、発電所向けチップ出荷量は282千トンと122千トン(対前年度比で176%)と大きく増加しています、しかし、原木を含め多くを他県から入れている状況に変わりはありません。</p>
------	---	---

※昨年度末時点で原材料、出荷品の在庫があり、今年度末にも在庫があるため、入荷＝出荷とはならない。
 ※小数点以下を四捨五入しているため、一致しない部分がある。